

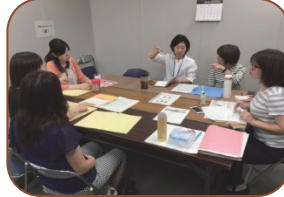
人事制度

「安心して職務に専念できる」「向上心をもって挑戦できる」職場を目指して

◆ 勤務条件

勤務時間	8時30分～17時15分（休憩1時間）
休日・休暇	週休2日制（土・日）、年次有給休暇20日、夏季休暇5日、忌引・結婚休暇など
給与（初任給・大卒）	約204,700円（地域手当含む）
諸手当	扶養手当、住居手当、通勤手当など
期末・勤勉手当	年 4.20ヶ月

◆ 庁内公募制度
 市政を取り巻く情勢の変化に対し、機動的かつ有効に対応していくため、部署の枠組を超えたプロジェクトを実施しています。（TOYODA BEERプロジェクト・職員採用プロジェクトなど）毎年、多くの若手職員がこれらのプロジェクトに参加し、新たな職務にチャレンジしています。



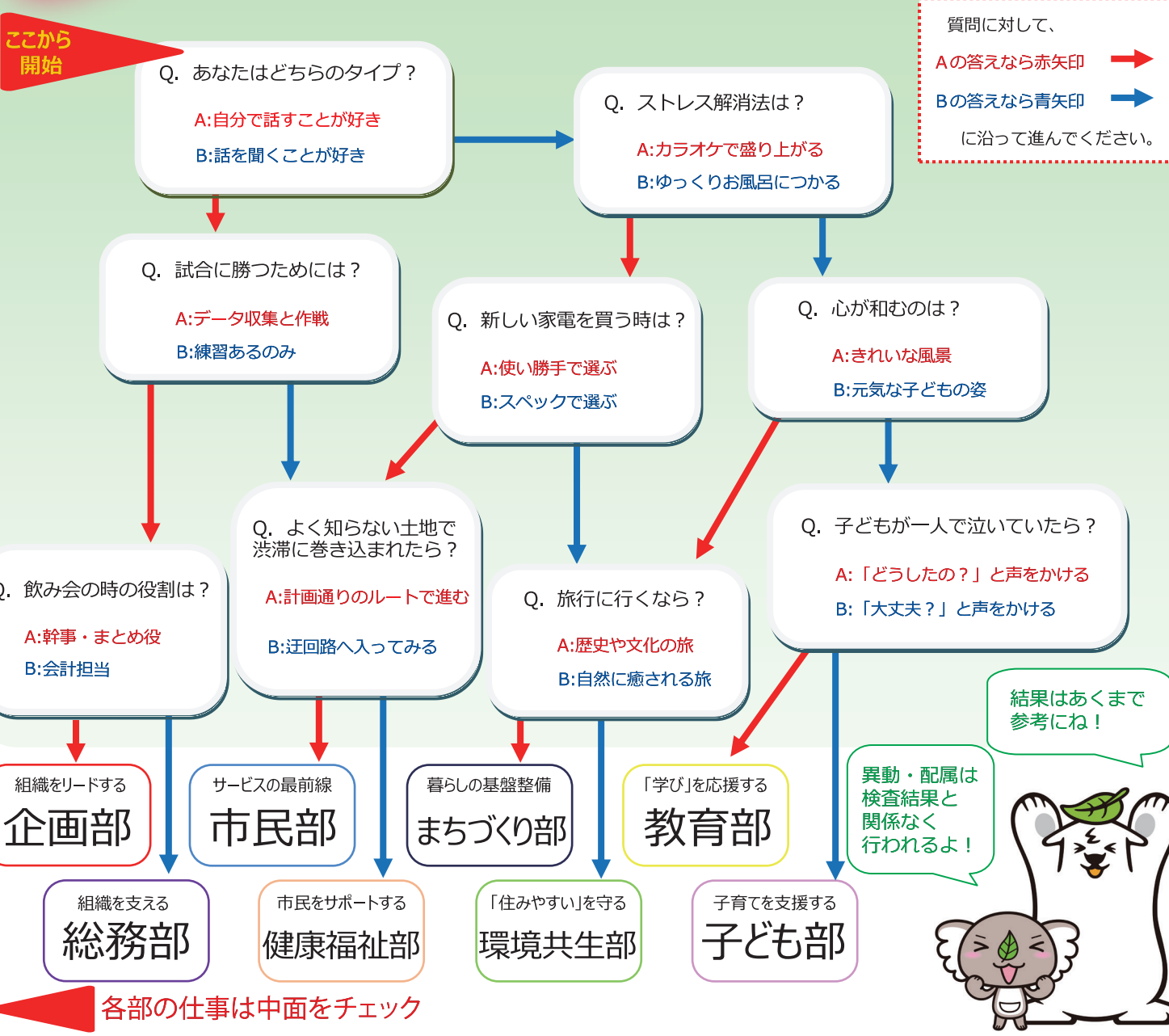
さらに、平成26年度からは、職員が自ら企画・実施する「自主研修制度」を開始し、意欲ある職員が学びと挑戦をサポートしています。平成27年度には、窓口での英会話対応研修や、会議等の進行を取り仕切るためのファシリテーター研修などが職員の企画により実施されました。



※給与、期末・勤勉手当については、平成27年4月現在の値です。
 ※週休日については、配属部署によっては土日以外となる場合があります。
 ※年次有給休暇については、年途中の採用の場合は按分されます。（4月採用の場合15日）

市役所の仕事 適性チェック

質問に答えて、あなたの性格に向けた市役所の部署をチェックしてみよう！



採用までの流れ

※下記の流れは本誌発行時点での予定であり、変更となる可能性があります。最新の情報は、日野市職員採用ホームページにてご確認ください。

エントリー受付	3月～	マイナビ内の日野市のページ(下記参照)からエントリーを受け付けます。
受験申込	5月下旬～6月中旬	エントリーしていただいた方に対して、正式な受験申込方法についてご案内します。（エントリーシートを申込と併せて提出していただきます） ※マイナビをご利用にならない方の申込方法については、別途ホームページ上でご案内します。
エントリーシートによる書類選考	-	提出していただいたエントリーシートを基に、選考を行います。
一次試験（筆記試験）	6月26日(日)	一般知識・教養、事務能力等を測る試験を行います。 日野市の筆記試験は「公務員試験」ではないため、公務員試験に特化した対策は不要です。 （日野市職員採用ホームページ上にサンプル問題があります）
二次～四次試験	7月～8月	面接、グループディスカッション等による選考を行います。
最終合格決定	8月中旬	四次試験終了後、結果が決定次第合格者の方へお知らせします。
合格者説明会	8月下旬	試験合格者を対象に、入所までの流れや市の組織等について説明します。
職員との交流会	10月	民間企業の「内定式」にあたるイベントです。 ◆市の経営層からの講話 ◆新人職員（1年先輩の職員）との交流会 など
健康診断	11月～12月	入所前の健康診断です。社会人として健康を維持するための栄養指導も併せて行います。
入所前説明会	来年2月	入所に必要な書類の記入や、4月1日(入所式)についての説明を行います。
採用	来年4月	日野市職員として、正式に採用となります。

--- マイナビ(日野市のページ) ---
<https://job.mynavi.jp/17/pc/search/corp207475/outline.html>

--- 日野市職員採用ホームページ ---
<https://www.city.hino.lg.jp/index.cfm/199.html>

エントリーの手続きや、最新の更新情報はこちらから。説明会等のイベント情報も掲載しています。

本誌には掲載されていない先輩職員の声や、市役所の仕事紹介など、日野市についてより詳しく知ることができるサイトです。

総務部職員課 人事係
 〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
 電話：042-585-1111（内線4611・4612）
 E-Mail：syokuin@city.hino.lg.jp

水と緑の文化都市 日野市

本誌掲載の情報(市の組織、勤務条件等)につきましては、平成27年4月現在のものとなっております。

市役所で働く。2017

一般知識・教養・受験に関する市役所

「暮らしの総合商社」市の組織とそれぞれの役割・仕事
 ～たくさんの仕事から「天職」を見出せる職場～

チャート式「市役所の仕事」適性チェック
 そもそも「日野市」ってどこにあるの？

日野市職員採用案内

市長からのメッセージ

日野市が目指すこと

日野市が求める人材

日野市長 大坪冬彦

日野市では、『人とまちの“諸力融合”が「可能性に満ちた未来」を拓く』というビジョンを掲げています。“諸力融合”という言葉の中には、未来への責任を共有するすべての人が、互いの立場を尊重し協力することによって、それぞれの持つ力を繋げていき、一つの大きな力となって困難を乗り越え、可能性に満ちた未来を切り拓いていきたいとの想いを込めています。地域に関わる様々な方々と社会課題を共有し、“諸力融合”で課題解決をしていくことで、皆様から“住みたい”“住み続けたい”と思われるまちづくりを目指しています。

これから日野市職員を目指す皆さんには、日野市が目指すまちづくりを踏まえ、常に自ら考え、行動し、挑戦する意識を持ち、何事もチームワークで周囲を巻き込みながら仕事を進めていくという姿勢を持っていて欲しいと思います。それは、仕事上の成果だけでなく、自分自身の成長や価値を高めていくことにも繋がります。日野市では、平成26年度より採用試験の方式を見直し、いわゆる「公務員試験」ではない基礎的な能力を問う試験とし、このような意識や姿勢を持つ人材を幅広く募るとともに、採用後の成長をサポートする環境を整えています。共に『可能性に満ちた未来を拓く』仲間を待っています。

日野市とは 水と緑の文化都市

日野市は、都心から西に35 km、東京都のほぼ中心に位置しています。古くから交通の要衝であり、現在も甲州街道・川崎街道の2つの街道、JR中央線・京王線の2つの鉄道、多摩モノレールが市内を通る、交通の利便性が高いまちとなっています。

市内には多摩川・浅川から水を引く用水が流れ、古くからの水と人との関わりを感じられる風景が数多く残っています。市が現在掲げている50年ビジョンにおいては、将来の日野市の姿を「水都日野」と定めており、日野市の宝である美しい水辺を後世に残すための取組を進めています。

日野市は「新選組のふるさと」でもあります。副長・土方歳三や六番隊長・井上源三郎が生まれ育ったほか、彼らの活動を支えた名主の佐藤彦五郎の屋敷（日野宿本陣）が残されています。また、例年5月には「ひの新選組まつり」が開催されており、全国から新選組のファンが集う場となっています。

市役所の仕事は非常に多岐に渡り、それに対応するため、多くの部署が組織の中に存在します。基本的には3～5年程度の周期でこれらの部署を異動しながら様々な経験を積み、より高い価値を市民へ提供できる職員として成長していくこととなります。

各部の役割は中面をチェック

市役所の組織 幅広く、多彩な職務内容

市役所の組織図

- 市長
- 副市長
- 地域戦略室
- 企画部
- 総務部
- 市民部
- 環境共生部
- まちづくり部
- 健康福祉部
- 子ども部
- 教育部
- 教育機関(学校・図書館など)
- 選挙管理委員会事務局
- 選挙管理委員会事務局
- 監査委員事務局
- 監査委員事務局
- 農業委員会事務局
- 農業委員会事務局
- 議会事務局